

# 建築資格研究会

## 1. 建築資格研究会とは

建築資格研究会は、建築業界に長年勤務した仲間5名※1が、今までの経験を活かして「**建築を志す若い方の育成に少しでも寄与したい**」という趣旨から2015年1月1日に研究会として設立しました。若手の建築関係者に聞き取り調査をした結果、大多数の方から「**一級建築士の格安講座を開いてもらいたい**」との意見※2がありました。そこで、「**一級建築士**」を取得するための講座をインターネットを通して**無料**で提供しようとなり、5名が実行委員で寄付金200万円を出資してホームページ(以下HPという)を開設しました。結果的に2015年の1年間は全て無料で公開しましたが、HPの維持管理費と過去問の使用許諾※3のため、2年目から「HOME無料講座」のほか「**会員講座**」を組み込み、会員講座の年会費を**2万円**としました。このようなHPとして極めて年会費が安いのは、一部の外注を除く全ての資料を実行委員が無償で作成し、会費の全額をHP維持管理費だけに利用しているからです(当研究会は利益を追求する企業ではありません)。

※1 仲の良い友人5名(全員1級建築士、内1名構造設計1級建築士、1名設備設計1級建築士)で研究会を立ち上げました。

※2 多くの方から1級建築士を取得するため、2~3年(100万円以上払って)資格学校へ通学しているが合格できず、あまりに高額であり、独学での合格も自信が無く、格安で学べる講座をネットで開催してもらえないか等の意見が多々ありました。

※3 過去問は、公益財団法人建築技術教育普及センターから会員講座で公開することを限定に使用許諾を受けてます。

## 2. 聞き取り調査での要望とその対応

2014年~2015年に実施した聞き取り調査※4では、次の要望が集まりました。

① 業務が忙しく時間が取れないので、**過去問**が一目で見れるような資料を取りまとめてもらいたい。

② 通勤時には**スマホ**、昼休みは**パソコン**で何時でも何処でも見れる講座にしてもらいたい。

③ 他社多くの講座は、数十万円と高額なため、**無料講座**が無理なら1ヶ月のお小遣い程度にして欲しい。

これらを受けて、過去問を集め、過去何年まで学習すれば合格できるか、出題傾向はどのようになっているか等を分析しました。その分析結果を踏まえ、過去問20年をA3倍2枚程度で見れる項目別の出題問題一覧表などをまとめました。また、スマホ&パソコンで何時でも何処でも見れるHPとしました。2年目から導入した会員講座の年会費は、経済的に負担とならない1ヶ月のお小遣い程度となる2万円/年としました(1級、2級、構造・設備1級の全ての講座が見れて年会費2万円)。

※4 聞き取り調査は、2014年~2015年に実行委員の部下等数百名へヒアリング形式で要望を確認しました。

## 3. 構造設計1級建築士、設備設計1級建築士、2級建築士の追加

2015年のHP公開後、多くの方から「構造設計1級建築士、設備設計1級建築士、2級建築士」の講座も開設して頂きたいとの意見がありました。それを受け実行委員で協議した結果、2017年センターの使用許諾を受けて講座を組み込みました。この段階で研究会の目的が、最重要講座を1級建築士としつつ、全ての建築士資格を支援する講座となりました(10年の実務経験で全ての資格取得可能:2級建築士⇒**実務4年**⇒1級建築士⇒**実務5年**⇒構造・設備設計1級建築士)。構造・設備設計1級建築士の過去問解答書などは市販されていないので、低価格で有益な講座と思います(他社資格学校では数十万円の講座)。

## 4. 「ひと休み建築実務の話」の組み込み

研究会は、当初「建築実務の解説」をするHPを作ろうとしました。しかし、聞き取り調査の結果、「建築実務の話」よりも「1級建築士の資格講座」にして欲しい要望が大多数でした。実行委員からは、「約30年の実務ノウハウを何らかの形で伝えたい」となり、実務内容から1級建築士を目指すのに参考となるテーマを抽出し、「ひと休み建築実務の話」を組み込みました(無料講座へアップ)。資格は必要なものです。ただし、実務は一生を掛けて身に付けるべきものです。企業に長年勤めると、その企業、業界の立場を踏まえて、本来の純粋な技術をオブラートに包み、企業等を優先した情報公開となる傾向があります。ここでは、その点を白紙にして、本来の建築実務について、**純粋な技術**として解説することにしました(ひと休みに一読してみてください)。

## 5. HPのメリットとデメリット

HPのメリットは、①スマホ&パソコンで何時でも何処でも自分のペースで見れること、②1級、2級、構造・設備1級の全ての講座が見れること、③この種の講座としては極めて安価なこと。デメリットは、①資格学校のような対話型でないこと、②講座が利益を求めた企業でないこと(専属担当者不在、迅速対応性不足)、③毎週月曜日に追加アップする手作り感を脱却できないことです。

## 6. おわりに

当講座を開設して3年目に入りました。当初、HP来訪者は約10名/日でしたが、現在200名/日を越えています(会員も100名越え)。多くの方からご連絡を頂く中で、「学科で2年、製図で3年学校に通い、200万円以上を掛けても合格できず、もうあきらめようとしたとき、当講座をネットで見つけて再度学科からチャレンジしようという気持ちになった」と言うメールを頂きました。当講座は、そのような方にも**再度試験にチャレンジしたい**と思えるようなHPにしていきます。1級建築士の製図試験は、合格者の9割※5が資格学校に通学している方です(資格学校の合格率は約50%強※6)。当HPは、通学しない方も合格できるような、また通学している方も通学者の約半数が不合格となる厳しい現実があることから、通学者であっても合格の約半数に入るために当HPを利用したいと思って頂けるような講座を目指します。

他方、研究会は利益を追求する企業ではございません。実行委員5名は全員が現役サラリーマンで、資料作成は休日等に行っています。HPは皆様からの意見を取り入れ、より良い講座となるよう毎週月曜日アップします。また、事務局は、1日1回必ずメールを見るようにしていますが、メールの対応では時間を要することもありますので、ご理解下さい(電話対応はしていません)。

おわりにHPを作成してもご利用頂けないと意味がありません。十分な宣伝をする費用がありません。このHPを見て頂いた皆様が、「役立った」と思われれば、是非、**口コミ**で宣伝して頂けますようお願い申し上げます。

※5 H27製図合格者3,774名、公表されたA社2,149名とB社1,145名で合格占有率87%、非公表含め約9割が資格学校と想定。

※6 2014年~2015年の数百名からの聞き取り調査を踏まえ資格学校の入学者のうち合格者は約50%強と想定(占有率ではない)。

「建築資格研究会」実行委員